

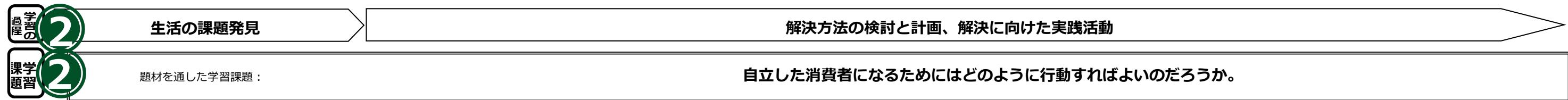
中学校 第 3 学年

題材名「自立した消費者になるために」(10 時間扱い)

1 題材を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
1 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性について理解する。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。	物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての課題を見いだす。 課題設定→解決策を構想→実践を評価・改善→考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付ける。	よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

2 資質・能力を育成する題材の授業設計



「見方・考え方」を踏まえた本時の目標	3 【第 1 時】消費者としての自覚 目指す子供の姿 ・自分や家族の消費生活について問題を見いだし、課題を設定する。	4 【第 2 時】いろいろな購入方法と支払い方法 目指す子供の姿 ・目的に応じた適切な購入方法と支払い方法を考え、その特徴を理解する。	5 【第 3 時】売買契約の仕組み 目指す子供の姿 ・多様化する支払方法と売買契約の仕組みについて理解する。	6 【第 4 時】計画的な金銭管理 目指す子供の姿 ・計画的な金銭管理が必要なことを理解する。	7 【第 5 時】物資・サービスの選択 目指す子供の姿 ・物資・サービスの選択に必要な情報を適切に収集し情報を活用して購入について考え工夫することができる。
	どのような視点で物事を捉え 私たちの消費行動に着目して、 どのような考え方で思考するか。 物資に恵まれた生活の写真や消費生活の仕組みの全体図、生徒の実態調査を考察することを通して、	どのような視点で物事を捉え、 いろいろな購入方法や支払い方法に着目して、 どのような考え方で思考するか。 いろいろな販売方法の特徴を踏まえ、購入方法を比較して考えることを通して、	どのような視点で物事を捉え、 多様化する支払い方法と売買契約に着目して、 どのような考え方で思考するか。 二者間契約と三者間契約を比較して考えることを通して、	どのような視点で物事を捉え、 家族生活全体の消費行動・消費計画・収支のバランスに着目して、 どのような考え方で思考するか。 家庭生活に必要な物資やサービスについて優先順位を調整して考えることを通して、	どのような視点で物事を捉え、 物資サービスの選択に必要な情報の収集・整理に着目して、 どのような考え方で思考するか。 各模擬家族の購入のための情報の収集・整理の仕方について比較して考えることを通して、
子供標準姿と成りたい	5 「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 ・自分や家族の消費生活と環境について関心をもち、問題点を見いだしして課題を設定している。【思・判・表】 自分の消費行動はどんな点が課題なのだろうか。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 ・購入方法や支払い方法の特徴について理解している。【知識・技能】 ・購入方法について考え、消費行動を工夫し、生活に生かそうとしている【思・判・表】 クレジットカードの支払いの仕組みを知りたい。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 売買契約の仕組み、クレジットカードによる三者間契約について理解している。【知識・技能】 自立した消費行動をとるためには、収支のバランスについても考えなければならないのではなかろうか。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 計画的な金銭管理が必要なことを理解している。【知識・技能】 限られた予算の中で、どのようなことに気を付けて商品を選んだらよいのだろうか。	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解している。【知識・技能】 ・物資・サービスの選択に必要な情報を収集し情報を活用して購入について考え、工夫しようとしている。【思・判・表】 買い物する時にトラブル（消費者被害）に巻き込まれることはないだろうか。
	6 ◆【主体的な学びの視点】 ⇒ 問題（課題）意識をもつ ・自分の消費生活に対する課題を設定し、自立した消費者となるためには、これからどのようなことを知り、また何ができるようになればよいのか学習の見通しを立てる。	◆【対話的な学びの視点】 ⇒ よりよい考え方を見いだす ・それぞれの販売方法の特徴を踏まえて指定された商品の購入方法を選択し、なぜその販売方法を選択したか話し合い、考えをまとめる。	◆【主体的な学びの視点】 ⇒ 問題（課題）意識をもつ ・外部講師を招き、三者間契約について使用場面を具体的に想定して講義を受ける。また、将来どのようにカードを管理し、使用していかなければならぬか課題や問題意識をもつ。	◆【対話的な学びの視点】 ⇒ よりよい考え方を見いだす ・限られた家計の中で何を優先し、どう工夫すれば（模擬）家族にとって必要なものを購入できるのか考え、気を付けた点を発表して、よりよい考え方を見いだす。	◆【対話的な学びの視点】 ⇒ よりよい考え方を見いだす ・模擬家族が購入するためのシミュレーションを行い、その結果を発表し、物資サービスの選択に必要な情報の収集・整理の方法についてまとめる。

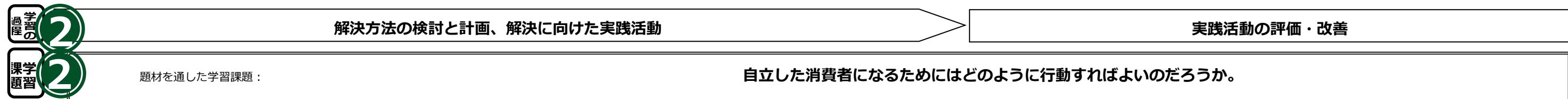
中学校 第 3 学年

題材名「自立した消費者になるために」(10 時間扱い)

1 題材を通して育成する資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
1 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性について理解する。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。	物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての課題を見いだす。 課題設定→解決策を構想→実践を評価・改善→考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付ける。	よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

2 資質・能力を育成する題材の授業設計



見方・考え方 「踏まえた本時の目標」	3 【第 6 時】消費者被害への対策 目指す子供の姿 ・消費者被害の背景とその対応について理解し、望ましい消費行動について考え、工夫することができる。	【第 7 時】消費者の権利と責任 目指す子供の姿 ・消費者の基本的な権利と責任について理解する。	【第 8 時】消費生活が環境や社会に及ぼす影響 目指す子供の姿 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解し、環境負荷を軽減させる消費行動について考え、工夫することができる。	【第 9 時】自立した消費者としての行動 目指す子供の姿 ・自立した消費者としての責任ある消費行動について課題解決に向けて考えることができる。	【第 10 時】自立した消費者 目指す子供の姿 ・よりよい消費生活の実現に向けて、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、実践しようとしている。
	4 どのような視点で物事を捉え、消費者被害の背景とその対応に着目して、どのような考え方で思考するか。 トラブルに応じた解決方法や対策を考え、まとめることを通して、	どのような視点で物事を捉え、消費者の基本的な権利と責任に着目して、どのような考え方で思考するか。 購入後のトラブルに応じた解決方法や不具合があった場合の様々な行動を関連付けて考えることを通して、	どのような視点で物事を捉え、環境負荷の軽減に着目して、どのような考え方で思考するか。 消費生活と、空気・河川等の汚染や地球温暖化を関連付けて考えることを通して、	どのような視点で物事を捉え、自立した消費者としての責任ある消費行動に着目して、どのような考え方で思考するか。 自分の消費生活と環境や社会に及ぼす影響と自立した消費者としての責任ある行動を関連付けて考えることを通して、	どのような視点で物事を捉え、よりよい消費生活の実現に着目して、どのような考え方で思考するか。 自立した消費者として責任ある行動について、様々な考えを比較して考えることを通して、

子目標の達成目標 「達成した目標」	5 【第 6 時】消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者被害を防ぐためには消費者としてどのように行動すればよいか考え、工夫している。【思・判・表】	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 【第 7 時】消費者の基本的な権利と責任について理解している。【知識・技能】	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 【第 8 時】自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。【知識・技能】 ・自分たちにできる消費行動について考え、工夫している。【思・判・表】	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 【第 9 時】自立した消費者となるための消費行動について、実践を評価したり改善したりしている。【思・判・表】	「目指す子供の姿」を達成した子供の姿 【第 10 時】自立した消費者となるための消費行動について、課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。【思・判・表】
	消費者の権利や責任を考えた消費生活とは、具体的にどうすればよいのだろうか。	自立した消費生活を送るにはどうしたらよいのだろうか。	日常の生活を変えていくことで、地球規模の課題を解決できるのではないか。	日常の生活を変えていくことで、地球規模の課題を解決できるのではないか。	自立した消費者になるために、責任ある消費行動をしていきたい。

「主体的・対話的で深い学び」の視点 「達成した目標」	6 ◆【対話的な学びの視点】 ⇒よりよい考えを見いだす。 ・消費者被害にあった事例をもとに、消費者被害を防ぐためにどのような行動をとればよいか考え、話し合う。	◆【対話的な学びの視点】 ⇒よりよい考えを見いだす ・商品の購入で消費者被害にあった場合の問題点について、どのような権利と責任が関わっているかを考え、発表しあう。 ・購入後のトラブルや不具合に消費者としてどのような行動をとればよいか考え、話し合う。	◆【主体的な学びの視点】 ⇒ 新たな気付きを生みだす ・消費生活が地球規模の課題に影響している写真等から、自分の消費生活を振り返り、どのような消費行動が実践できるか考察し話し合う。	◆【深い学びの視点】 ⇒ 知識を相互に関連付けて考える。 ・物資やサービスの選択・購入、消費生活が及ぼす環境や社会の影響について、自立した消費者としての行動を関連付け、プレゼンテーションシートにまとめる。	◆【深い学びの視点】 ⇒ 考えを再構築する。 ・自立した消費者となるための消費行動について自分の考えを発表し、他の発表者から学び得たことを参考に、自立した消費者について改めて考えを深める。